

令和7年度北信広域連合定期監査報告書

1 監査の日時 令和7年11月17日（月） 午前10時00分から午後2時40分

2 監査の場所 中野市豊田庁舎 第1会議室

3 監査の対象

(1) 期間 令和7年4月1日から令和7年9月30日まで

(2) 区分 令和7年度北信広域連合一般会計

令和7年度北信広域連合養護老人ホーム事業特別会計

養護老人ホームてるさと

令和7年度北信広域連合特別養護老人ホーム事業特別会計

特別養護老人ホーム望岳荘

特別養護老人ホームいで湯の里

特別養護老人ホーム菜の花苑

特別養護老人ホームふるさと苑

特別養護老人ホームてるさと

(3) 調書 各会計に係る会計現計表、予算執行状況、委託料調、賃貸借料調、工事請負費調、修繕料調、負担金交付金調、補助金調、備品調、人件費に関する調、財政調整基金及び特定目的基金調及び広域連合債等明細書

4 監査の方法

定期監査に当たっては、令和7年9月末日における事務事業の執行（進捗）状況及び財務に関する事務について、あらかじめ提出された監査資料に基づき、関係職員から説明を聴取し、関係法令並びに議決予算の趣旨に添って適正かつ効率的に予算執行が行われているかを主眼に、予算（歳入・歳出）の執行状況、委託事務、工事請負状況、物品の取得管理、その他の事務について監査を実施した。

5 監査の結果

監査に付された9月末までの各会計歳入歳出予算執行状況、附属書類等、財務処理の監査を執行したが、いずれも適正に処理され、関係書類の整備は良好であることを確認した。

(1) 全体概要

令和7年度一般会計及び特別会計歳入歳出予算の執行状況は、収入済額 918,316,846円（収入率36.9%）、支出済額 1,012,696,866円（執行率40.7%）で、差引△94,380,020円となっている。

一般会計では、収入済額 118,643,622円（収入率32.4%）、支出済額 90,568,062円（執行率24.7%）で、差引 28,075,560円となっている。

養護老人ホーム事業特別会計及び特別養護老人ホーム事業特別会計では、収入済額 799,673,224円（収入率37.6%）、支出済額 922,128,804円（執行率43.4%）で、差引△122,455,580円となっている。

（2）監査委員意見

- ① 予算の執行状況はほぼ例年並みであるが、業務委託、工事請負、備品購入については、施設利用者や関係者の利便性に直結することから、発注の時期とその必要性について確認をしながら早期執行に努められたい。また、検査や検収に当たっては、設計書、見積書等と照合しながら厳正に執行されたい。
- ② 未収金については、804,789円と前年同期に対し1,641,876円減少し、10月には531,382円収入済となっており、未収金解消の成果が認められた。しかしながら、新たな未収金も発生しており、引き続き回収に努められたい。
- ③ 施設利用率については、感染症対策の影響及び利用者の退所や長期入院等もあり、前年同期と比べ0.3ポイント減少している。効率的な利用改善を図りながら、利用率向上に努められたい。
- ④ 職員の休職、退職により当初計画の職員数が確保できない状況もあることから、サービスの低下や職員の過重労働とならないよう配慮願いたい。
また、物価高騰の中、一食当たりの賄材料単価は前年同期に比べ16円軽減しており、その努力に敬意を表すとともに、今後も原材料の高騰が予想されることから、より一層の取組に努められたい。
- ⑤ 新年度予算編成に当たっては、施設の老朽化や備品類の経年劣化が増えていることから、計画的な改修、更新がされるよう配慮されたい。